



あすなろ



特別支援教室あすなろ
令和3年12月10日 No.4

厳しい寒さの中、冬の日だまりを暖かく感じるようになりました。子供たちは、休み時間に寒さを感じさせない様子で元気よく外遊びをしています。

令和3年も、いよいよ終わろうとしています。保護者の皆様には、特別支援教室あすなろの教育活動にご理解ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。あすなろ教室の2学期の指導は12月13日(月)で終了し、これから面談期間になります。短い時間ではありますが、実りある時間としたいと思います。来年も、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、子供たち一人一人に寄り添った指導をまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

指導の中から～見るのが苦手なお子さんのために～



◎苦手チェックリスト

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1.字の大きさや間隔がバラバラ | 2.線の長さが分からない(半分の位置など) |
| 3.マスの位置を間違える | 4.斜めの線が書けない |
| 5.教科書の手本を正しく写せない | 6.板書の文字を探すのに時間がかかる |
| 7.上手に線をなぞれない | 8.文章を縦書きに書くと、斜めにそれていく |
| 9.字がだんだん小さくなったり大きくなったりする | 10.紙などのスペースが分からない(紙の半分の位置など) |

笹田哲著 書字指導アラカルト より

これらは、書字に影響する目の動きが関係しています。

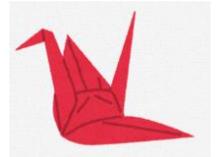
視力の問題だけではありません。頭を動かしながらものを見るには、眼球運動が必要です。遠くや近くを交互に見るには、両眼視機能も必要です。

眼球を動かしたり、遠く近くを交互に見たり、見る距離を頻繁に変えたりする運動ができることで、書くことに対する苦手意識が軽減していきます。

そのため学習内容にビジョントレーニングを取り入れています。具体的な内容は、「数字探し・文字探し」「点つなぎ」「ボール運動」「お手玉」「的当て」「ぬりえ」「めいろ」「パズル」「かるた」「絵や文字の間違い探し」「折り紙」「トランプ」「羽根つき」「けん玉」「シールはり」などです。(※ビジョントレーニング以外のねらいで取り組むこともあります。)また、日常の動作では、はさみやのりを用いての工作、楽器の演奏などにも目と手を連動させる練習の要素があります。

もうすぐ冬休みですね。「昔遊び」には、楽しみながら様々な機能が伸ばせる要素があると感じます。冬休み期間中にはお正月もありますので、ご家庭でも楽しみながら一緒に「昔遊び」に取り組んでいただけたら幸いです。

3学期の予定



1月11日(火)～ 1月14日(金)	3学期開始 行動観察期間
1月17日(月)	あすなろ教室 3学期指導開始
3月11日(金)	あすなろ教室 3学期指導終了
3月14日(月)～ 3月23日(水)	個人面談



